



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月13日

上場会社名 株式会社 大真空

上場取引所 東

コード番号 6962 URL <http://www.kds.info>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 宗平

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務本部 本部長 (氏名) 谷崎 敦司

TEL 079-426-3211

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	29,881	5.0	277	488.9	344	9.9	276	
2019年3月期	28,457	6.1	47	84.3	381	76.0	475	

(注) 包括利益 2020年3月期 94百万円 (%) 2019年3月期 1百万円 (98.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	34.23		1.1	0.6	0.9
2019年3月期	58.95		1.8	0.6	0.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	62,995	30,180	39.8	3,106.42
2019年3月期	58,431	30,566	43.6	3,157.37

(参考) 自己資本 2020年3月期 25,073百万円 2019年3月期 25,489百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	688	2,592	3,586	15,321
2019年3月期	998	1,590	1,054	13,940

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		10.00		5.00	15.00	121		0.5
2020年3月期		5.00		15.00	20.00	161	58.4	0.6
2021年3月期(予想)								

2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 記念配当10円00銭
現時点では、2021年3月期の配当予想は未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	9,049,242 株	2019年3月期	9,049,242 株
期末自己株式数	2020年3月期	977,771 株	2019年3月期	976,280 株
期中平均株式数	2020年3月期	8,072,410 株	2019年3月期	8,073,465 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	22,829	5.8	238		142		631	
2019年3月期	21,580	9.7	584		75		189	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	78.29	
2019年3月期	23.43	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	53,677	26,777	49.9	3,317.50
2019年3月期	48,663	26,440	54.3	3,275.18

(参考) 自己資本 2020年3月期 26,777百万円 2019年3月期 26,440百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

2020年6月3日開催予定の決算説明会后、当社ホームページに記載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2019年4月1日～2020年3月31日）におけるわが国経済は、企業収益は底堅く、個人消費に持ち直しの動きが見られました。世界経済におきましては、米国は雇用環境の改善など拡大基調が続きましたが、欧州では政治不安が高まり、中国を中心としたアジアでは米中貿易摩擦の影響を受ける結果となりました。2020年に入り新型コロナウイルスの感染が拡大しWHO（世界保健機構）がパンデミックを宣言するなど、国内外の経済活動に急速な変化が見られました。

このような環境の中、当社グループではカーエレクトロニクス向けや産業向けの販売が減少しましたが、通信向けや民生向けの販売が増加し、売上高は29,881百万円（前期比5.0%増）となりました。利益面につきましては、売上高の増加に伴い営業利益は277百万円（前期比488.9%増）となりました。営業外収益に補助金収入220百万円、営業外費用に為替差損215百万円などを計上し、経常利益は344百万円（前期比9.9%減）となりました。特別利益に事業譲渡益302百万円、固定資産売却益201百万円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は276百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失475百万円）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における資産は62,995百万円であり、前連結会計年度末と比較して4,564百万円増加しております。これは受取手形及び売掛金の増加などによるものであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債は32,814百万円であり、前連結会計年度末と比較して4,950百万円増加しております。これは主に借入金の増加などによるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産は30,180百万円であり、前連結会計年度末と比較して386百万円減少しております。これは主に為替換算調整勘定の減少などによるものであります。

これらにより自己資本比率は3.8ポイント減少して、39.8%となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計期間の連結キャッシュ・フローの状況は、それぞれ次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は688百万円となりました。これは主に減価償却費などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,592百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は3,586百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入などによるものであります。

これらの結果、当連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計期間末に比べ1,380百万円増加し、当連結会計期間末には15,321百万円となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率	42.6 %	43.6 %	43.8 %	43.6 %	39.8 %
時価ベースの 自己資本比率	16.4 %	18.8 %	17.4 %	14.7 %	19.0 %
キャッシュ・フロー 対 有利子負債比率	4.1 年	7.8 年	24.8 年	20.7 年	35.6 年
インタレスト・カバ レッジ・レシオ	29.5	19.5	6.6	7.8	5.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※ キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

※ 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（4）今後の見通し

今後の経済環境におきまして、国内外では依然として新型コロナウイルスが感染拡大しており、個人消費の減少や失業率の上昇が見込まれるなど、経済活動の正常化には時間を要すると思われまます。水晶業界におきましては、中国／台湾など海外水晶メーカーが台頭し、コモディティ化が加速するなど日系企業は利益創出の難しい状況が継続すると思われまます。マーケット環境として、通信機器マーケットでは、世の中に存在するさまざまな「モノ」がネットワークにつながる「IoT」の進展や、大容量・高速通信を可能とする「5G」の本格的な商用化に期待が高まらまます。カーエレクトロニクスマーケットにおきましては、足元のマーケットは低迷しているもののエコカーの増加やADASの普及、つながるクルマや自動運転などマーケットの拡大が期待され、産業用ロボットなどの産業機器マーケットにも注目が集まらまます。

このような環境の中、当社グループでは中期・長期的な成長を実現するため、創業60周年を機に10年長期経営計画を策定しまました。コモディティ化から脱却するための対応策として「新たなマーケットの創造」と「特定マーケットへの特化」を推進し、高付加価値な差別化商品を投入することで参入障壁も高まると考えています。また、低価格マーケットでも利益を確保できる新しい技術を使った製品を投入してまいます。さらに、今後の水晶デバイスの核となるフォトリソ技術に必要な不可欠となる大型ウェハの外部への販売の計画や、オープンイノベーション／コラボレーションを推進するなど、利益率No.1の水晶業界のリーダーを目指しまます。加えて、コーポレートガバナンスの強化や、日々の仕事をおもしろくやりがいのある仕事にする風土づくりなどを推進し、社員が瞳を輝かせ持続的な成長／発展が可能な企業を目指してまいます。

次期の連結業績見通しにつきまましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたしまます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、引き続き日本基準を採用することとしております。今後のIFRS（国際財務報告基準）の適用については、グローバル展開・内外の情勢等を踏まえながら検討してまいます。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,940,193	15,321,066
受取手形及び売掛金	6,474,124	8,222,265
有価証券	—	30,449
商品及び製品	5,786,955	4,531,859
仕掛品	3,115,045	3,932,421
原材料及び貯蔵品	3,864,702	4,617,421
その他	1,252,266	1,351,495
貸倒引当金	△1,403	△1,588
流動資産合計	34,431,883	38,005,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,223,119	18,889,189
減価償却累計額	△16,108,135	△15,856,302
建物及び構築物（純額）	3,114,983	3,032,887
機械装置及び運搬具	47,456,491	46,630,205
減価償却累計額	△38,633,537	△37,870,794
機械装置及び運搬具（純額）	8,822,954	8,759,411
工具、器具及び備品	5,708,868	5,670,024
減価償却累計額	△4,849,742	△4,804,938
工具、器具及び備品（純額）	859,126	865,085
土地	5,801,084	5,771,490
リース資産	1,155,321	1,140,758
減価償却累計額	△291,277	△415,865
リース資産（純額）	864,044	724,893
建設仮勘定	1,331,031	2,808,728
有形固定資産合計	20,793,224	21,962,495
無形固定資産		
投資その他の資産	150,472	140,519
投資有価証券	1,521,499	1,524,567
長期貸付金	1,225	936
繰延税金資産	393,401	400,990
その他	1,219,215	1,040,177
貸倒引当金	△79,800	△79,800
投資その他の資産合計	3,055,541	2,886,871
固定資産合計	23,999,238	24,989,886
資産合計	58,431,122	62,995,277

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年 3 月31日)	当連結会計年度 (2020年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,407,185	2,776,222
短期借入金	2,675,920	1,754,186
1年内返済予定の長期借入金	7,804,274	7,575,342
リース債務	149,154	570,801
未払金	1,258,686	1,976,125
未払法人税等	240,500	204,688
賞与引当金	239,836	210,159
その他	905,380	978,720
流動負債合計	15,680,938	16,046,246
固定負債		
長期借入金	9,310,165	14,457,780
リース債務	718,509	162,944
繰延税金負債	706,581	714,040
退職給付に係る負債	1,185,488	1,210,612
長期未払金	134,218	94,076
資産除去債務	26,063	26,492
その他	102,583	102,577
固定負債合計	12,183,610	16,768,525
負債合計	27,864,549	32,814,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,344,883	19,344,883
資本剰余金	7,158,606	7,158,606
利益剰余金	△530,587	△334,959
自己株式	△1,921,559	△1,924,021
株主資本合計	24,051,343	24,244,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	329,023	305,500
繰延ヘッジ損益	—	△46,593
為替換算調整勘定	845,448	434,402
退職給付に係る調整累計額	263,503	135,591
その他の包括利益累計額合計	1,437,975	828,900
非支配株主持分	5,077,253	5,107,094
純資産合計	30,566,572	30,180,505
負債純資産合計	58,431,122	62,995,277

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
売上高	28,457,498	29,881,946
売上原価	22,276,033	23,443,856
売上総利益	6,181,465	6,438,089
販売費及び一般管理費	6,134,309	6,160,378
営業利益	47,155	277,711
営業外収益		
受取利息	63,783	53,424
受取配当金	38,824	42,551
為替差益	124,703	—
補助金収入	—	220,606
受取保険金	256,289	56,208
その他	140,050	119,443
営業外収益合計	623,651	492,234
営業外費用		
支払利息	127,493	121,624
為替差損	—	215,846
支払補償費	88,516	—
その他	73,062	88,432
営業外費用合計	289,072	425,903
経常利益	381,733	344,042
特別利益		
固定資産売却益	4,947	201,515
投資有価証券売却益	878	94,794
事業譲渡益	—	302,857
特別利益合計	5,826	599,167
特別損失		
固定資産売却損	11,983	90
固定資産除却損	6,506	2,605
減損損失	13,419	18,511
事業移管損失	116,759	33,825
特別損失合計	148,669	55,032
税金等調整前当期純利益	238,890	888,177
法人税、住民税及び事業税	302,713	258,292
法人税等調整額	84,609	75,023
法人税等合計	387,322	333,316
当期純利益又は当期純損失（△）	△148,431	554,860
非支配株主に帰属する当期純利益	327,483	278,504
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失（△）	△475,914	276,355

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
当期純利益又は当期純損失（△）	△148,431	554,860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,821	115,838
繰延ヘッジ損益	—	△46,593
為替換算調整勘定	75,015	△580,766
退職給付に係る調整額	78,171	△137,438
その他の包括利益合計	150,364	△648,960
包括利益	1,932	△94,099
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	△355,191	△332,719
非支配株主に係る包括利益	357,124	238,619

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,344,883	7,158,606	66,432	△1,920,380	24,649,542
当期変動額					
剰余金の配当			△121,104		△121,104
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△475,914		△475,914
自己株式の取得				△1,179	△1,179
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	△597,019	△1,179	△598,198
当期末残高	19,344,883	7,158,606	△530,587	△1,921,559	24,051,343

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	375,488	—	751,491	190,271	1,317,251	4,913,344	30,880,138
当期変動額							
剰余金の配当							△121,104
親会社株主に帰属する当期純損失（△）							△475,914
自己株式の取得							△1,179
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△46,464	—	93,956	73,231	120,723	163,909	284,633
当期変動額合計	△46,464	—	93,956	73,231	120,723	163,909	△313,565
当期末残高	329,023	—	845,448	263,503	1,437,975	5,077,253	30,566,572

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,344,883	7,158,606	△530,587	△1,921,559	24,051,343
当期変動額					
剰余金の配当			△80,728		△80,728
親会社株主に帰属する当期純利益			276,355		276,355
自己株式の取得				△2,461	△2,461
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	195,627	△2,461	193,166
当期末残高	19,344,883	7,158,606	△334,959	△1,924,021	24,244,509

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	329,023	—	845,448	263,503	1,437,975	5,077,253	30,566,572
当期変動額							
剰余金の配当							△80,728
親会社株主に帰属する当期純利益							276,355
自己株式の取得							△2,461
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△23,523	△46,593	△411,045	△127,911	△609,074	29,840	△579,234
当期変動額合計	△23,523	△46,593	△411,045	△127,911	△609,074	29,840	△386,067
当期末残高	305,500	△46,593	434,402	135,591	828,900	5,107,094	30,180,505

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	238,890	888,177
減価償却費	2,801,929	2,582,285
長期前払費用償却額	76,167	76,167
減損損失	13,419	18,511
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10,688	203
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△213,780	△29,543
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	145,854	△108,178
受取利息及び受取配当金	△102,608	△95,976
支払利息	127,493	121,624
為替差損益 (△は益)	△49,382	82,018
投資有価証券売却損益 (△は益)	△878	△94,794
有形固定資産売却損益 (△は益)	7,035	△201,425
有形固定資産除却損	6,506	2,605
事業譲渡損益 (△は益)	—	△302,857
売上債権の増減額 (△は増加)	662,811	△1,929,088
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,104,538	△564,091
仕入債務の増減額 (△は減少)	△265,502	619,771
その他	△77,222	△40,997
小計	1,255,506	1,024,411
利息及び配当金の受取額	102,608	95,976
利息の支払額	△126,170	△129,085
法人税等の支払額	△336,838	△303,056
法人税等の還付額	103,232	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	998,339	688,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△307,113	—
定期預金の払戻による収入	349,057	—
有価証券の取得による支出	△162,337	△1,164,916
有価証券の売却による収入	986,823	1,134,891
有形固定資産の取得による支出	△2,348,573	△3,515,680
有形固定資産の売却による収入	15,707	279,374
無形固定資産の取得による支出	△24,913	△23,936
事業譲渡による収入	—	465,148
投資有価証券の取得による支出	△8,877	△9,058
投資有価証券の売却による収入	1,656	144,195
貸付けによる支出	△1,166	△1,869
貸付金の回収による収入	1,308	2,044
その他	△91,982	97,674
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,590,409	△2,592,131

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年 4 月 1 日 至 2019年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2019年 4 月 1 日 至 2020年 3 月 31 日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	916,831	△898,720
長期借入れによる収入	3,050,000	15,597,000
長期借入金の返済による支出	△4,604,138	△10,693,423
リース債務の返済による支出	△103,280	△132,517
配当金の支払額	△120,727	△80,513
非支配株主への配当金の支払額	△192,479	△202,394
自己株式の取得による支出	△1,179	△2,461
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,054,973	3,586,968
現金及び現金同等物に係る換算差額	27,248	△302,211
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,619,794	1,380,872
現金及び現金同等物の期首残高	15,559,988	13,940,193
現金及び現金同等物の期末残高	13,940,193	15,321,066

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

（セグメント情報）

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検証を行う対象となっているものとあります。

当社グループは、水晶応用電子部品を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においては米国、欧州、中国、台湾、アジアの各地域をDAISHINKU (AMERICA) CORP.（米国）、DAISHINKU (DEUTSCHLAND) GmbH（欧州）、大真空（香港）有限公司（中国）、天津大真空有限公司（中国）、加高電子股份有限公司及びその子会社（台湾）、DAISHINKU (THAILAND) CO., LTD. 及びその子会社（アジア）、PT. KDS INDONESIA（アジア）が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社の報告セグメントは生産・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」、「欧州」、「中国」、「台湾」及び「アジア」の6つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	北米 (注) 3	欧州 (注) 3	中国	台湾	アジア (注) 3	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	6,657,692	1,811,363	2,751,161	8,395,653	6,759,567	2,082,061	28,457,498	—	28,457,498
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	14,920,369	28,944	3,614	1,809,118	2,974,565	5,842,929	25,579,541	△25,579,541	—
計	21,578,061	1,840,307	2,754,775	10,204,772	9,734,132	7,924,991	54,037,040	△25,579,541	28,457,498
セグメント利益 又は損失 (△)	△591,204	28,114	55,923	△75,523	839,830	△207,327	49,812	△2,657	47,155
セグメント資産	36,497,402	847,011	1,179,867	7,128,401	15,019,208	6,458,576	67,130,467	△8,699,344	58,431,122
その他の項目									
減価償却費	1,119,163	267	1,179	101,683	761,643	644,394	2,628,331	△38,249	2,590,082
減損損失	—	—	—	—	13,419	—	13,419	—	13,419
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	1,347,213	527	424	25,567	1,623,081	121,068	3,117,883	△100,691	3,017,192

(注) 1. 調整額は、以下の通りであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△2,657千円には、セグメント間取引消去25,621千円、その他の調整額△28,278千円が含まれております。
 - (2) セグメント資産の調整額△8,699,344千円には、セグメント間の債権と債務の相殺消去額△8,002,776千円、その他の調整額△696,568千円が含まれております。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主として未実現利益の消去であります。
2. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
 3. 日本、中国、台湾以外の各セグメントに属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 - (1) 北米……………米国
 - (2) 欧州……………ドイツ
 - (3) アジア……………インドネシア、シンガポール、タイ

当連結会計年度 (自 2019年 4 月 1 日 至 2020年 3 月 31 日)

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	北米 (注) 3	欧州 (注) 3	中国	台湾	アジア (注) 3	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	5,911,438	1,493,101	2,545,015	11,223,093	6,919,432	1,789,865	29,881,946	—	29,881,946
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	16,913,757	31,295	2,321	1,725,675	2,552,540	5,380,231	26,605,822	△26,605,822	—
計	22,825,196	1,524,396	2,547,336	12,948,768	9,471,973	7,170,096	56,487,768	△26,605,822	29,881,946
セグメント利益 又は損失 (△)	△282,113	△19,077	21,703	4,496	674,488	△243,739	155,758	121,952	277,711
セグメント資産	41,445,210	666,384	1,151,573	8,622,596	15,557,410	5,783,176	73,226,351	△10,231,074	62,995,277
その他の項目									
減価償却費	989,753	1,323	1,865	95,697	770,082	460,957	2,319,680	△29,303	2,290,376
減損損失	—	—	—	—	18,511	—	18,511	—	18,511
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	3,208,368	3,801	11,711	122,007	759,189	199,904	4,304,983	△82,541	4,222,441

(注) 1. 調整額は、以下の通りであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額121,952千円には、セグメント間取引消去△12,344千円、その他の調整額134,296千円が含まれております。
 - (2) セグメント資産の調整額△10,231,074千円には、セグメント間の債権と債務の相殺消去額△9,637,295千円、その他の調整額△593,778千円が含まれております。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主として未実現利益の消去であります。
2. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
 3. 日本、中国、台湾以外の各セグメントに属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 - (1) 北米……………米国
 - (2) 欧州……………ドイツ
 - (3) アジア……………インドネシア、シンガポール、タイ

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	3,157.37円	3,106.42円
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額（△）	△58.95円	34.23円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額について、前連結会計年度は、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、当連結会計年度は、1株当たり当期純利益金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	△475,914	276,355
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額（△）（千円）	△475,914	276,355
普通株式の期中平均株式数（千株）	8,073	8,072

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額（千円）	30,566,572	30,180,505
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	5,077,253	5,107,094
（うち非支配株主持分）（千円）	(5,077,253)	(5,107,094)
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	25,489,319	25,073,410
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（千株）	8,072	8,071

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

（開示の省略）

リース取引、関連当事者との取引、税効果会計、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付等に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため、開示を省略しております。

4. その他

役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

・新任取締役候補

取締役 広嶋 敏郎 (現 執行役員 生産本部長兼生産管理部長)

取締役 川崎 正志 (現 執行役員 素材本部長)

取締役 長谷川 晋平 (現 執行役員 営業本部副本部長)

・退任予定取締役

専務取締役 田中 秀幸 当社 相談役就任予定

常務取締役 前田 宏 当社 監査役就任予定

・新任監査役候補

(常勤) 監査役 前田 宏 (現 常務取締役)

③ 就任及び退任予定日

2020年6月26日